

# 二口ナ 保健師多いと 罹患率少ないと

奈良県立医科大学

研究チーム発表

人口当たりの保健師数  
が多い都道府県は、新型  
コロナウイルス感染症に  
かかる人の割合が低くな  
ることが認められると  
奈良県立医科大学県民健  
康増進支援センターの研  
究チームが10日、発表し  
ました。

## 都道府県別に分析

研究チームは、統計資料を基に都道府県別の人口10万人当たりの保健師数と新型コロナウイルス感染症の罹患(りかん)率との関連性について検討。都道府県別人口当たりの保健師数を数の少ないものから多いものへ順位並べて五つのグループに分け、新型コロナウイルスの変異型別(野生型、アルファ型、デルタ型、全感染者)に分析しました。

高齢者割合や人口密度など罹患率に影響を与える特性を考慮したモデルでは、全ての変異型において、人口当たりの保健師数が少ない都道府県で罹患率が高かったことが判明。人口当たりの医師数や看護師数などの医療資源、完全失業率や被保険者割合などの社会的要因を調整したモデルなどでも同様の結果を示しました。

研究チームは、「保健師による積極的免疫学調査がクラスターの早期発見・早期対応を可能にし、感染拡大防止に寄与した可能性がある。保健師の多い都道府県の住民はマスク着用、予防接種、外出自粛などの感染予防行動を実践する傾向があり感染拡大が予防されたと考えられる」と説明。「保健師の数を増やすことは、国内の新型コロナウイルスの感染拡大を封じ込めるのに役立つ可能性を示唆した」と述べています。

研究成果は、科学誌『エンバイロメンタル・ヘルス・アンド・プリベントティブ・メディシン』電子版(3月付)に掲載されました。

した。

研究チームは「保健師による積極的免疫学調査がクラスターの早期発見・早期対応を可能にし、感染拡大防止に寄与した可能性がある。保健師の多い都道府県の住民はマスク着用、予防接種、外出自粛などの感染予防行動を実践する傾向があり感染拡大が予防されたと考えられる」と説明。「保健師の数を増やすことは、国内の新型コロナウイルスの感染拡大を封じ込めるのに役立つ可能性を示唆した」と述べています。